

## 緑の担い手

# 未来につながる 林業

株式会社 ヨシナリ林業  
山崎 亮

2019年10月、私は大子町の(株)ヨシナリ林業に入社しました。異業種からの転職に周りからも驚かれましたが、ご縁があつて会社と家族の為、自分に出来ることをやってみようと林業の世界に飛び込んでみることにしました。

入社を決意した時に思い出したのですが、子供の頃の夢は「木こり」でした。山に籠って黙々と仕事をする姿が子供ながらにかっこいいなと思つたからです。実際に入社してみると、現代の林業はチェーンソーや高性能林業機械を駆使したとても迫力ある作業風景でした。軽々とチェーンソーを使いこなし、自在に機械を操る先輩方がとてもかっこよく見え、私自身もそうなれるよう、日々技術の研さんに励んでいます。緑の雇用の研修には2020年度から参加しており、今年が3年目です。同期の年齢層は10代から50代で、就労した経緯や経歴は様々ですが、

研修は世代を越えて同じ立場で共に学び励まし合う大変有意義な時間となつていきます。

最近では、民有林の調査や測量、森林所有者さんへの営業をする機会も増えてきました。これまで「売る」営業の経験はありましたが(立木を)「買う」営業は初めてなので、また違った難しさがあります。山はスケールが大きく調査は緻密なので夕方にも暮れる事もあります。同じ日がないくらい充実した日々を過ごしています。

当社の社長は、「林業に終わりは無い。伐つたら植えて手入れをして、また伐ることが出来る。未来につながる仕事だよ」と言います。未来につながる林業という仕事に誇りを持ち、初心を忘れず、これからも自分なりに頑張つていこうと思います。

